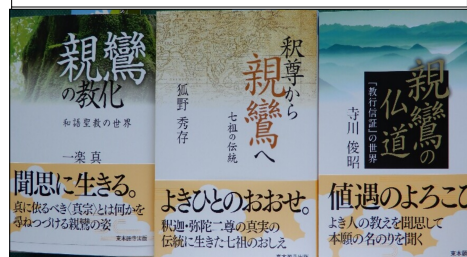


あゆみ通信

VOL. 105

あゆみの会(真宗大谷
派大阪教区第2組同朋
の会推進員連絡協議会)
会長 浪花 博
広報 本持 喜康

今月の3冊



2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念として出版された「シリーズ親鸞」(筑摩書房)の文庫版が東本願寺から出版されました。名畑崇「歴史の中の親鸞」、小川一乗「親鸞が出遇った釈尊」狐野秀存「釈尊から親鸞へ」寺川俊昭「親鸞の仏道」一楽真「親鸞の教化」です。いずれも定価は750円で税別。続いての5冊も後に出版されるでしょう。体系的に先生方が書かれている著作が軽便な文庫で読めるのでお勧めです。

自然を畏怖する？

ある先生の話である。自然災害の多い国日本。自然の雨が大きな災害を引き起こしている。自然を「畏怖」、恐れることが欠けていると。近代化で科学技術が進歩し、自然をどうにでもできるというおごりが、自然の脅威をいつの間にか忘れていてのではないかと。「畏怖」を持つことで、対処の仕方も、農作物生育の対策も、また防災対策の基本がここにあるのではないかと。

「畏怖」が忘れ去られることで、場当たりの対処療法に終り、毎年繰り返し各地で被害が多発しているのではないだろうか。再度、原点に返り、自然を見直そう。(本)

仏法は聴聞にきはまる



2016年朋友会との合同研修会

2015年から第2組の次代を担う青年僧の組織である朋友会の皆さんと一緒に聞法が始まって3年目になる。住職・寺族と門徒・推進員が共に聞法することによって、お互いが切磋琢磨して第2組の寺院の興隆をはかろうという思いで始まった。お寺と門徒という垣根を取り払い、共に相集い宗祖親鸞聖人の「教え」を学ぶことにより、寺院の活性化を目指そうという計画は、道半ばである。一步一步であるが信頼関係が育っている。

皆さんも、ぜひこの機会にご参加ください。

朋友会との合同研修会

日時 2017年9月26日(火)

午後1時30分から

会場 稱念寺(天王寺区夕陽丘町)

内容 法話と座談

講題 「仏にお育てを受けて」

講師 藤井 真隆氏

(即應寺副住職)

別途、ご案内の葉書等で参加をご連絡願います。待っています。



第2組行事報告 教務所長第2組 巡回



2017年8月21日(月)午後6時から、了安寺(海老海組長)に於いて、第2組の教務所長巡回が第2組寺院の住職・寺族21名と門徒会員7名が参加し、大阪教務所の宮浦一郎所長と次長、主計、駐在教導、難波別院総局長を迎えて開催された。これは7月の教区会、教区門徒会で承認された内容を踏まえ、宗派経常費依頼と宗派の現況及び教区運営方針の伝達、説明のために8月2日から取り組まれているもの。



海老海恵幸組長(了安寺)の開会挨拶の後、教区を代表して

宮浦所長からスタッフの紹介と御挨拶をいただき、宗派経常費の第2組の完納表彰、60年連続完納の光照寺(墨林浩住職)





表彰、そして2016年に住職を交代された稱念

寺(岸野龍之住職)の岸野正行前住職・岸野トシ子前坊守に対する表彰と感謝状の贈呈が行われた。



引き続き、宮浦所長をはじめスタッフから、主な宗務の課題と業務報告、教区教化テーマの告知ポスターの配布。並びに難波別院山門に代わるホテル建設の経緯と本山報恩講参拝奨励への取り組みなどが説明された。

質疑応答では①災害義捐



金の所得控除について、②教化テーマについて、③養成講座を終えた推進員の育成について、質問と意見があり、所長並びにスタッフからそれぞれ回答をいただいた。



最後に松本隆信副組長(西教寺)から、聞法会等の日程の連絡があり終了した。休憩後は教務所長他スタッフの皆さんと懇親会を持ちお斎をいただきながら歓談した。

第4期推進員養成講座のあゆみ まもなく誕生する私たちの仲間

仏弟子をお育てする

2007年の7月スタートの第2組で第2期の推進員養成講座は住職や坊守、寺族と門徒会あげて結成したスタッフ24名で、参加した受講生は24名(修了者は18名)本山研修は2008年6月14～16日。2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌に向けての取り組みであった。この修了者を核として第2組に組推協「あゆみの会」が誕生する。その後第2組で第3期の推進員養成講座が、第2組の31名のスタッフで、2012年の6月から開始。2013年6月1～3日の本山研修を行い20名の修了者が誕生された。

真剣に熱心に

そして、満を持して今回、2016年11月のオリエンテーションで始まったのが第4期推進員養成講座である。今回は講師に三好泰紹先生(蓮正寺)教区スタッフに稲垣洋信氏(長教寺)、小松肇氏(泉勝寺)を迎えて、組内からは21名のスタッフで、受講者は5ヶ寺から11名が参加されている。

●オリエンテーション

2016年11月19日(土)午後2時から即應寺で。全員でお勤めの後、組長から開会挨拶、教区スタッフ小松氏から趣旨説明と浪花博氏の修了者の声があり、続いての座談で自己紹介とスタッフ紹介。お寺とのかかわりについて緊張気味に話され、講師の三好先生から法話をいただいた。

●前期講座第1回

2016年12月3日(土)午後2時から宗恩寺(池田英二郎住職)で開催され、「いつ、どんな気持ちで手を合わせますか」のテーマで座談そして法話があり、全員がとにかく発言されていた。

●前期講座第2回

2017年2月18日(土)午後2時から紹隆寺(喜左上恵子住職)で開催され、テーマ「あなたは何に不安を感じ、何に安心を求めていますか」について、座談・法話で、それぞれが少しずつ発言されていた。

●前期講座第3回

2017年5月27日(土)午後2時から光圓寺(室殿和子坊守)でテーマ「あなたが今、大事にしていることは何ですか」について、座談、法話、座談で、お寺の垣根を超えたつながりがうかがえる発言が出ていた。

●前期講座第4回

2017年7月8日(土)午後2時から光照寺(墨林浩住職)で「自分にとって幸せとは何だろう」をテーマに、先ず、リラックスするようにゲームから始められて、座談、法話、座談が行われ、受講者同士の繋がりが、一層感じられる講座になっていたと思う。

●前期講座第5回

2017年9月2日(土)午後2時から行圓寺(竹内博明住職)で、テーマ「あなたはこれからどう生きて行きたいですか」です。(要約は事務局です)